

1 『逆バニー風紀委員長の鬼焦らしぴょんぴょん更生指導』ASMR脚本

2

3 ◆登場人物

4 ■ヒロイン紹介…風紀委員長

5 ・あなたが通う学園の風紀委員長

6 ・いつもクールで何を考えているかはわからない

7 ・校則違反者には容赦がなく、さらに何人もの生徒を更生させてきたそうだが…？

8 ・意外と可愛いものが好き

9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	⑥中	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22	⑥近	
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34	⑥近→⑦近	
35		
36		

【逆バニー風紀委員長の鬼焦らしぴょんぴょん更生指導】

場所…特別指導室

▼目覚めたあなたはなぜか全裸にされて鎖で縛られている。

SE：鎖の音

「おや…目を覚ましましたか」

「ここは特別風紀室です」

「どうしてここににいるのかは…おわかりですよね？」

▼風紀委員長近づきながら

SE：足音（ヒール）近づく

「あなたがこの学校の風紀を著しく乱しているからです」

「遅刻、無断欠席、昼食の早食い…立ち入り禁止の屋上への侵入…

報告を受けている事案だけでも、両手の指を使って数え切れません」

「ですので、本日は風紀委員長である私が直々に、あなたの特別風紀指導を行います」

「…お覚悟を」

「…なんですか？ その締まりのない顔は…」

「これから指導を受けるというのに…そんな態度は関心しませんね」

▼何を言っているのかわからず困惑している感じで

「格好？ 逆バニー？ 催眠？」

「何を言っているんですか。漫画やアニメの見過ぎでは？」

「これは伝統ある特別風紀指導の正装ですよ？」

ふざけるのも大概にしてください」

37		「口頭注意では改善されないあなたの態度を…
38		体を使って指導するための衣装です」
39		「まあ、口で何を言っても聞き入れてはくれませんよね。
40		だからここにいますのですし…」
41		「時間もありません。さっさと始めてしまいましょう」
42		「ああ、逃げようとしても無駄ですよ」
43		「今のあなたは体に入らないようになっていきます」
44		
45		▼耳元に顔を突き出し
46	⑨近	「あなたが食べた昼食に、少々お薬を混ぜさせてもらいましたので…」
47		「風紀委員の権力があれば、学食のおばさまに協力を依頼することなど
48		容易いこと…」
49	⑨近→⑧近	「ええ、まあ…股間がこうなってしまうているのも薬の力によるものです」
50		
51		▼あなたの前に体を戻し、ガーゼにローションをかける
52	⑧近→⑦近	「まずはこちらを…このガーゼとローションで…」
53		
54		▼ローションガーゼコキを開始
55		SE：ローションコキ音 ※継続
56		
57		▼耳元で煽り気味にコキ音再現
58		「しゅっしゅ、しゅっしゅっ」
59		「じゅぶじゅぶ、しゅっしゅっ」
60		「ふふ、亀頭を責められるのははじめてですか？」
61		

62		▼顔を正面に戻し
63	⑦近↓⑥近	「辛いでしょう？　これが風紀委員伝統のローションガーゼ指導です」
64		「心の汚れは体の汚れから…あなたの一番汚い部分をこうして…
65		きれいにするのです」
66		「そうすれば自ずと…心もきれいになるはずです…」
67		「ふう、ふう…逃げようとしても無駄だと言ったはずですが？」
68		「あなたはこうして…耐え難い快樂を受けながら…
69		自分の罪を反省するのです」
70	⑥近↓⑤近	「…決してイクようなことはさせませんよ。力加減は心得ておりますから」
71		「無様に股間を膨らませながら…終わることのない快樂指導を受けるのです」
72		「どうですか？　反省してますか？」
73		「…反省してくれば、すぐにイかせてあげますよ？」
74	⑤近↓④近	「なんて…そんなことはしませんけど。ふふっ♡」
75		「そういう我慢弱いところがあるから、何度も校則違反を犯すのです」
76		「充分反省したと私が認めるまで、ずっとこのままです」
77		
78		▼あなたの耳元に顔を移動させ耳舐め
79	③接	「ん…ふう…」
80		「ちゅっ♡　ちゅぶっ…んちゅ、れるれる…れろちゅう…
81		んちゅっ、れるれる…れろお…」
82		「れるれるれりゅんじゅ、じゅぶりゅりゅ…れるれじゅ…
83		れろれろくれろじゅ…」
84		「じゅぶぶっ…んちゅっ、んっ♡　ぷはあ…」
85	③接↓③近	「失礼…こちらでも汚れていたようです…」
86		「人の注意を聞かない耳が、きれいなわけないですもんね」
87	③近↓⑤近	「ふう、ふう…」
88		

89		
90	⑤近→⑧近	▼しゃべりながら反対側の方へ顔を移動させ 「なので、こちらもきれいにしないと…」
91		
92		▼息を吹きかける
93	⑨接	「ふう、ふうくふうく」
94		
95		▼息舐め開始
96		「はあむっ…ちゅっ♡　じゅりゅりゅ、じゅぶっ…んふっ♡ ちゅぶ、ちゅりゅ…れるれる…」
97		「れろお…んちゅっ、れるれる、れるつぶっ♡ んじゅりゅじゅ…れるれるくれるろ…」
98		「れろじゅぶ…じゅぶ…はあ♡」
99		「はあ、はあ…ふう…」
100		
101	⑨接→⑨近	▼手を止めて、ローションガーゼを確認 SS…ローションコキ音　※停止
102		
103		
104		
105		
106	⑧近→⑦近	「あら、ローション以外のものがガーゼに染み込んでるみたいですね」
107		「そんなに辛いのですか？」
108	⑦近→⑥近	「もう限界？」
109		
110		▼あなたの耳元に顔を移動させ
111	⑤近→③近	「なら…反省の意思を見せてほしいですね」
112		「ちゃんとした誠意ある謝罪の言葉をいただければ…
113		私も考えないことはありません」
114		「ですの…どうぞ？」
115		

116		▼あなた、何かしらの発言
117		▼それを遮るように耳舐め
118	③近↓③接	「ふう、ふう…ふう、ふう…ふう…ん、はあ…」
119	③接↓③近	「ダメですね。全然…」
120		「喘ぎ声の混じった謝罪が誠意ある謝罪だと…
121		あなたは本当に思っているのですか？」
122	③近↓⑤近	「呆れて言葉ありません…」
123		「ですが…まあ、いいでしょう」
124		「今回は初の特別風紀室…これ以上やってしまったては更生どころか
125		壊れてしまうかもしれませんし…」
126		「今日のところは…これで許してあげます」
127	③近↓⑤近	「ですので、醜くおっ勃っているそれを…沈めてしましましょう」
128		
129		▼風紀委員長、改めてあなたの前に体を移動させ
130	⑥近	「ふう…ふう…」
131		
132		▼股間をこすりつける
133		SE…水音
134		
135		「はい、私の熱々おまんこで…」
136		
137		▼風紀委員長、腰をおろして挿入
138		「んんっ…んんっふう…♡」
139		
140		「おやおや…校則違反を繰り返す劣等生の割には…
141		こちらは模範的な場所に当ててきますね…♡ んふうっ♡」
142		「大きさもまずまずですし…んっ！ 悪くないです…♡」

143	▼風紀委員長、腰を動かし始める
144	SE：ピストン音 継続
145	
146	「ふう…ふう…んふっ…ですが、もうビクビクして…
147	限界が近いようですね？」
148	「教育に大切なものはアメとムチです。
149	ですから特別風紀委員室では、このように反省した方にはおまんこを
150	使って絶頂させてあげているのです」
151	「ですので、生おまんこ…十分に堪能してください」
152	「んんっ…と言っても、堪能する暇もなく、射精してしまいそうですけどね」
153	「んっ！ んんっ！ んふう！ ふっ！ ふう！ んふっ！ ふう！
154	ふっ！ んっ！」
155	
156	▼耳元に顔を移動させて、快楽に耐えるあなたの様子を楽しむようにささやき
157	「どうですか？ 私のは…ぴっちりとおなたのを包んでえ…」
158	「ふう、ふう…いいんですよ？ そんな我慢しなくても…」
159	「さっきは散々我慢していたではないですか。まだ我慢する気ですか？」
160	「ふふっ…そういう強情な所は…別に嫌いではないですけど…」
161	「こっちも仕事が残っているので、さっさと射精してください」
162	
163	▼風紀委員長、腰のスピードアップ
164	SE：ピストン音・早め 継続
165	
166	⑨近→⑥近
167	「ふう、ふっ！ んっ！ ふっ！ ふう！ ふっ！ はあ！ ふっ！
168	んっ！ んっ！」

169		
170	⑥近↓③近	▼逆方向の耳に顔を移動させながら 「ほら、ほら、ほら、ほら…」 「イケ、イケ、イケ、イケ！」 「気持ちよさで頭パンクしそうになりながら、情けなく射精…しろっ！」 「何も考えられなくなった頭で、」 びゆるびゆる出すことしか考えられなくなーれ！」 「ふう！ んっ！ ふんっ！ んっ！ ふっ！」 「せーの…」 「びゅっびゅっびゅゝゝゝ！」
171		
172		
173		
174		
175		
176		
177		
178		
179		▼あなた、たまらず射精
180		SE…ピストン音・早め 終了
181		SE…射精音
182		
183		▼風紀委員長、満足そうに絶頂
184		「んっ…んんっ…ふううう♡」
185		「長い射精…ずっと我慢していたとはいえ、」 子宮に遠慮なくぶちまけてくるじゃないですか」
186		
187	③近↓⑥近	「まあ、いいでしょう…んっ…ふう♡」
188		
189		▼風紀委員長、股間を引き抜き
190		SE…鎖の音
191		
192	⑥近↓⑦近	「ふう…」
193		

194

▼風紀委員長、あなたをまっすぐ見つめて

195 ⑦近↓⑥中

「これにて教育は終了です」

196

「もう2度と、校則違反など犯さないようにしてくださいね…」

197

「もしまたこの部屋に呼ばれるようなことがあれば…」

198

「その時は…いくらあなたが反省したと喚いても、

199

2時間は反省時間を設けますから」

200

「…お覚悟を。ふふふ…」

201

END